

中医協基本問題小委員会・総会への報告結果の概要について

平成29年9月27日の中医協基本問題小委員会及び総会において、入院医療等の調査・評価分科会からこれまでの検討状況(中間とりまとめ)を報告し、以下のような、報告内容に対する意見があったので報告する。

《主な意見》

(一般病棟入院基本料)

- 重症度、医療・看護必要度の平成28年度改定での見直しの影響についても、より詳細な分析をすべきではないか。
- 重症度、医療・看護必要度の判定基準に非該当の患者、特に、A項目0点かつB項目0点の患者について、より詳細なデータを示すべきではないか。
- 急性期の病棟には様々な患者が入院しており、重症度、医療・看護必要度の判定基準に該当しない患者がいるのは当然ではないか。
- 平均在院日数について、DPC対象病院の平均在院日数の報告とも比較して分析して欲しい。

(療養病棟入院基本料)

- DPCデータを用いた分析で、医療区分2の患者と医療区分3の患者の入院基本料を除く1日当たり平均点数にあまり差が無かったが、この点について、より詳細な分析を行うべきではないか。

(データ提出加算)

- データ提出加算の提出項目について、より詳細な分析が可能となるよう、慢性期の患者の特性に応じた項目の見直しを検討すべきではないか。